

公益財団法人 真生会館

2023年度 事業計画書

自： 2023年4月 1日

至： 2024年3月31日

目的(定款より)

「この法人は、学生及び社会人を対象とし、カトリックの精神に則り、その智徳を深め、また、豊かな知性と教養を涵養することを目的とする。」

2023年度の事業方針

2023年度も真生会館は、複雑で多様な日本社会の中にあって、真摯に生きようとする学生・青年たちにキリスト教精神に基づく真理の光を提示して、日本社会および世界の真の発展・進歩に貢献できる人間の育成を図る。同時に、複雑で困難な社会の現実の中でさまざまな重荷を負いながら悩みもがく社会人に誠実にキリスト教精神に基づいた学びと交わりの場を提供し、日本社会と世界の安寧と平和に貢献することを目指す。

なお、新型コロナウイルス感染症への対応として政府方針に準拠しながら、感染予防に十分留意しつつ事業を行う。

I. 「キリスト教精神に基づいて、学生・青年と社会人に学びの場や出会いと成長の場を提供し、その智徳を深め、豊かな知性と教養を涵養して、互いの人間性を尊重しながら心豊かに人生を送ることができるようにすることを目的とする事業」(公1)

1. 講座等

①真生会館講座

・真生会館の講座は、四つの柱に沿った内容で企画する。

[Ⅰ. 現代人の生き方、社会を考える]

土曜講座、など。

[Ⅱ. キリスト教の光に人間の生き方を求めて]

日曜講座、など。

[Ⅲ. キリスト教文化、教養(音楽・読書・話し方・・・)]

「美術と聖書」、「音楽と祈り」、など。

[Ⅳ. キリスト教の源泉と遺産]

聖書コース、「ラテン教父」、初心者コース、など。

年間の講座は、4-7月期、9-12月期、1-3月期の三期に開講する。

・2023年度初開始の新講座

「中世聖歌に親しむ」杉本 ゆり(中世音楽研究家)

「ロシア文学に親しむ」安岡 治子(東京大学名誉教授)

・4月、9月に、真生会館の利用者に向けた「感謝の集い」を開催する。

②外部の団体・公益法人・NPOなどとの連携、支援、協力

・一時的な会場使用として、要望があった場合に趣旨やグループの背景を検討して、真生会館の活動目的に沿っていると判断したら、部屋を使用してもらう。

- ・その他、真生会館と目的を同じくする団体には、支援・協力をおこなう。

2. 学生・青年たちの活動支援

①学びの場、議論の場・交わりの場・楽しむ場・思索の場の提供

・真生会館の学生室などで、平日の夜にワカゲスタッフが企画したプログラムを開催し、学生や青年が参加する。企画は曜日ごとに、テーマや方式を変えて開催する。平日の19:00～21:00まで活動する。

本年度の学生スタッフは、10名程度の予定で、スタッフが2,3名で分担し各曜日の企画の準備と運営を行う。

指導者が、引き続き学生スタッフとともに関わり、サポートする。

*各曜日の企画予定

(月曜日) WAKAGE STUDIO:留学生も交え、英語で歌ったり話し合ったりする。

(火曜日) 祈りの火曜日: 日常の中で落ち着いた時間を持ち、ともに祈る。

(水曜日) AFTER SCHOOL わかげ: 学校で放課後を過ごすように、ゲームや映画を楽しむ。

(木曜日) INTERNATIONAL THURSDAY KITCHEN:共に食事を作り、皆で食べながら交流する。

(金曜日) マジ金: ワカゲをサポートする指導者と一緒に、テーマを決めて語り合う。

- ・学期の最初や最後に始業式や終業式としての集いを企画する。
- ・クリスマスや成人式など季節に応じた企画も開催する。
- ・山登り、バーベキューなど館外での行事も、企画し開催する。
- ・「はつど」などワカゲの活動に関連した学生・青年グループに対して、会議や企画などで会場として真生会館の部屋を提供することにより協力する。

②海外の学生・青年活動との交流・連携

・2019年4月に上智大学アルペ国際学生寮が開設され、寮の留学生たちとワカゲの若者たちが、交流を続けている。本年度も、ワカゲの活動にアルペ寮から参加してもらい、アルペ寮での集まりにワカゲの青年たちも参加してもらおう。

・EAP(East Asia Program:東アジア研修会)など、アジアあるいは他の海外地域での企画に、ワカゲスタッフおよび青年たちが参加するよう支援する。

II. 上智大学国際学生寮の用地としての土地の賃貸事業(収1)

- ・学校法人上智学院への上智大学国際学生寮の用地として土地賃貸を事業として継続する。